お彼岸期間　9月20日（土）～9月26日（金）

秋彼岸会 法要のご案内

令和7年9月20日（土）午前11時

今年は彼岸入りの20日にしますので
是非ご来寺いただき卒塔婆を持ってお参り下さい

場所　講安寺仮本堂

秋彼岸会塔婆供養料

1本3,000円（小塔婆）　＊お布施　志納＊

塔婆は施主、施主以外の方もお申込みいただけます。
◆当家先祖代々塔婆　◆故人戒名塔婆　も承ります。

同封致しましたお葉書に必要事項をご記入の上、郵送にてお申込みください。塔婆料、お布施は当山銀行口座へお振込みいただくか、現金書留、来寺いただいた時にお納めください。

●9月10日（水曜日）までにお申込み願います
（9月10日までにお葉書を投函ください）

【お願い】
※工事中の為、お待合室のご用意ができません。ご来寺は１０時４５分目安でお願い申し上げます。
※工事中の為、自家用車の境内駐車はご遠慮願います。
※法要後、巣鴨墓地へお参りに行かれます方はお寺でタクシーの手配をいたします。返信葉書の備考欄にその旨お書きください。

お振込先
三井住友銀行　上野支店
（普）7831176
講安寺代表役員池田紗都
（コウアンジダイヒョウヤクインイケダサヅ）

現金書留送り先
〒113-0034
東京都文京区湯島4-12-13
講安寺宛

住職からのたより

「直葬（ちょくそう/じきそう）」という言葉をご存じでしょうか。葬儀を営まず火葬のみで埋葬することをいいます。浄土宗にとって葬儀とは、亡き人を極楽浄土にお見送りするための重要な儀式です。近年直葬が増えてきたようです。家族がみな先に亡くなり独りで生活し親族も近くにいない場合などはそうせざるを得ないかもしれません。しかし家族や親族がいるにもかかわらず、費用や手間をかけたくない、煩わしいなどの理由から直葬を選択される方もあるようです。葬儀は故人のためだけに行われるものではありません。故人が極楽浄土に往生された、また、極楽浄土から私たちを見守って下さっているという確信は、葬儀をすればこそ得られるものであり、残されたものの悲嘆を癒し前向きな日々にしてくれます。葬儀に意味はない、必要はないといったことを考える方もいらっしゃるかもしれませんが、これは自分自身を納得させるための言い訳で、本当は葬儀をすべきだと気付いているはずです。故人の歩んでこられた人生、残されたものとの縁、いのちの不思議さ、こうしたことに思いを致せば葬儀の必要性が感じられるはずです。葬儀は生前に縁のあったすべての人の為にあるものですから、縮小ばかりが本当に故人の望むことなのかも考え、最後のお別れをなさっていただきたいと思います。費用のご不安は遠慮せずご相談ください。